



校長室だより 笑顔

今年度のテーマ **聴き合う**

◆ さくら児童会スローガン：たくましく 笑顔いっぱい あかいつ子 ◆

夢へ向かって やり抜こう 応援しよう

弥生3月。学校では門出の春を迎える時期となりました。6年生は卒業式の練習を始め、1年生から5年生も学年のまとめに入っています。先日行われた「6年生を送る会」では、5年生が力を合わせて会を運営し、各学年の6年生への感謝を込めた出し物も、学年の個性とまとまりが光っていました。どの学年も頼もしく成長し、6年生は安心して「学校のリーダー」を引き継いでいけるようです。

学年末のこの時期は、4月に立てためあてを振り返り、ここからどうやって次の学年につなげるかを考え実践していく大切な時期です。そこで先日の朝会では、めあてや頑張りのもとになる「夢」について、6年生が実施した俊斎学習から改めて全校児童に話をしました。



(略)

この前、6年生が俊斎先生の生き方から学び、自分自身で考えたことを発表しました。その様子は、3年生以上の皆さんも見学しましたね。その中で印象的だったのが、夢を叶えることについて、俊斎先生と自分の似ているところを見つけ、行動に移していたことです。

横山明日奏さんは、「夢を叶えるのは思い通りにならないことや難しいことも多い」と共感し、「それでも夢に向かって努力したい」と夢への一步を踏み出しました。

鹿野絆来さんは、「一生懸命に努力をすることが俊斎先生との共通点」だと感じ、「今、自分ができることをやれば将来なりたいものに近付ける」と考えるようになりました。

6年生全員が自信を持って堂々と発表できていて、一人一人が自分の夢と正面から向き合ったことが伝わるものでした。中学校で自分らしく活躍してくれることが期待できますね。



現中1
高橋英寿さんより

ここで、校長先生の夢の話をしましょう。(略)

校長先生が抱えてきた夢を改めて見直してみると、少しずつ形は変わっているけれど、人と関わり、人を笑顔にしたいという点ではみんな同じです。そして、夢の形は変わっても、夢を叶えるために、毎日毎日頑張ったり考えたりすること、それも同じだなあと感じています。

皆さんの夢は何ですか。夢を叶えるためにどんなことをしていますか。めあての達成に近付くことはできていますか？

俊斎先生は、みんなにとって遠い存在かもしれませんが、6年生の皆さんが気付いたように、夢を叶えるために努力することの大切さは同じです。夢は変わっていくかもしれませんが挑戦し、やり抜いたことはきっと皆さんの力になって、大きく大きく成長させてくれるはずです。

さあ、今の学年もあと1か月。**皆さんの夢やめあてに向かって、やり抜き、そして、友達どうし頑張り認め合っていきましょう。**



6年生との昼食会 ～卒業に向けて～

3月1日から卒業を前にした6年生との交流昼食会を行っています。4, 5人のグループで校長室を訪れ、一緒に給食を食べて他愛のない話をする…。それだけのことですが、普段子どもたちとゆっくり話す機会のない私にとって、楽しく貴重な時間となっています。最後には、中学校で頑張りたいこと（「まずはやってみる」こと、どうせやるなら楽しんでやること、人や物事の良い面を見つけること など）を一言伝えています。校長室が楽しい思い出の場所の一つになるとうれしいです。

向かい合って給食を食べるのなんて2年生以来。楽しいよね。

ほかの学校との交流のとき、「友達になりましょう」って話しかけた。

すごい。勇気ある！



修学旅行でバスがさっぱり来なかった。来たと思ったら故障で降ろされた。

中学校では〇〇部に入りたいです。

自分の部屋はあるけど家族と一緒に楽しい！

夢いっぱい 未来へはばだけ あかいっ子

開校150周年記念として、講堂の施工業者であるマルホン組様が、全校児童による人文字「150」の空撮をしてくださいました。写真パネルにして寄贈されますので、後日紹介いたします。



南小の皆さん、ありがとう！

講堂工事のため、16か月にわたって赤井南小の講堂をお借りしていましたが、2月28日が最終日でした。大きなけがもなく、無事に終わることができ、本当に良かったです。全校でお礼のメッセージを書き、6年生の代表が鈴木校長先生に手渡しました。南小ではさっそく貼り出し、みんなで読んでいます。このような「心の交流」もいいものですね。

